



Delivered by Monex, Inc.

関係各位

2018年12月3日

マネックス証券株式会社

主要オンライン証券初！「音声入力注文」を取引ツールに導入 ～日本株取引ツール「トレードステーション」に新注文機能を追加～

マネックス証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：松本大、以下「マネックス証券」）は、アクティブトレーダー向けの日本株取引ツール「トレードステーション」に、新注文機能を追加いたしましたので、お知らせします。

今回新たに追加した注文機能は、「音声入力注文」機能と、機関投資家が用いてきた注文方法を簡単な操作で実現できる3種類の「アルゴリズム注文」機能です。「音声入力注文」の取引ツールへの導入は主要オンライン証券^(※1)では初となります。

■追加機能の概要

(1) 主要オンライン証券初の「音声入力注文」取引ツール導入

「音声入力注文」は、音声をリアルタイムにテキスト変換して注文入力を行う機能です。当初は、価格・株数・有効期間などに限定して提供をいたします。今後は、銘柄検索から注文確認まで、段階的に音声入力の範囲を拡大し、キーボード/マウスによる操作よりも高速な完全ハンズフリーでの注文入力の実現を目指してまいります。

なお、主要オンライン証券で「音声入力注文」を提供するのは、マネックス証券が初めてです。また、「音声入力注文」は、音声認識の基盤に Android スマートフォンや GoogleTM社の AI スピーカー「Google Home」のコアテクノロジーを用いた「Google Cloud Speech API」を採用しています。

<機能イメージ>



(2) 相場状況に応じたトレード戦略を実現する、3つのアルゴリズム注文

アルゴリズム注文には3つの機能を追加いたします。「アイス注文」「ハンター注文」「スライス注文」です。いずれの注文も、入力後に取引アプリが相場状況を監視して発注されるため、注文入力や相場状況を監視する負担が軽減されます。

① 「アイス注文」

株数の多い注文を指定回数に分割し、分割した数量が約定するごとに残りの数量を自動的に発注する注文方法です。

出来高の少ない銘柄で、自身の注文を目立たせることなく、分割して注文を自動的に執行することが可能になります。

【アイス注文の使用例】

191円で1,000株買い注文（指値）したとすると…

売	価格	買
500	200	
100	198	
2000	195	1000株発注
700	194	
	191	1100
	190	600
	188	200
	187	1200

売り手は大きな買い注文を見て買い需要が大きいことを見込み、売値を引き上げたい

191円より下で買い注文を出している他の買い手は、大きな買い注文を見て、少し上の気配（192円）に先回りして出したい

アイス注文なら…

売	価格	買
500	200	
100	198	
2000	195	1000株を 100株×10回で発注
700	194	
	191	200
	190	600
	188	200
	187	1200

アイス注文なら、買い注文を目立たせることなく、小分けの注文が自動で発注される

② 「ハンター注文」

指定した価格の気配が出るまでは注文を待機状態にし、気配が出たら瞬時に発注する、約定しなかった数量は取消して、市場に自身の注文を残さないようにする注文です。流動性がない銘柄で、指定した価格に売り注文が来たときにだけ、買い注文を出したい場合に、注文を自動的に執行することが可能になります。

【ハンター注文の使用例】

192円以下で1,000株買い注文（指値）を発注すると…

売	価格	買
500	200	
100	198	
2000	197	
700	196	
	192	1000
	191	1100
	190	600
	188	200

1000株発注

売り手は192円に大きな買い注文を見て需要が大きいと見る
売値と買値の間はなかなか縮まらない

ハンター注文なら…

売	価格	買
100	198	
2000	195	
700	194	
100	192	
	191	1100
	190	600
	188	200
	187	1200

192円に売りが
出た時だけ発注

板に注文が表示されていないので、買い需要が悟られない
また、注文内容によっては192円より有利な価格で買える場合も
出てくる

③ 「スライス注文」

大量の注文を指定回数に分割し、自動的に発注する注文方法です。アイス注文と違い、分割した注文の約定を待たずに一気に発注するので、手動による分割発注よりも高速な発注が可能になります。

【スライス注文の使用例】

191円で1,000株買い注文（指値）を発注すると…

売	価格	買	件数
100	198		
2000	195		
700	194		
100	192		
	191	1000	1
	190	600	2
	188	200	1
	187	1200	5

1000株発注

売り手は191円に大きな買い注文が一気に発注されるのを見て、
1人の参加者が注文を入れたと分かる
1人の参加者のみの買い需要のため、売値と買値の間はなかなか縮まらない

スライス注文なら…

売	価格	買	件数
100	198		
2000	195		
700	194		
100	192		
	191	1000	10
	190	600	2
	188	200	1
	187	1200	5

10件に分割されて
1000株発注

市場には分割した注文が一度に発注される。分割されているので、
他の参加者から1人による注文と悟れにくい

これらのアルゴリズム注文を活用することで、注文数量の多い投資家や、新興市場を中心とする中小型株を好む投資家が、相場状況に応じたトレード戦略を正確かつスピーディーに実行することが可能となります。

「音声入力注文」および「アイス注文」「ハンター注文」「スライス注文」の詳細は、「トレードステーション」特設サイト (<https://info.monex.co.jp/tradestation/>) をご覧ください。

※1 2018年12月3日現在、マネックス証券調べ。主要オンライン証券とは、SBI証券・カブドットコム証券・松井証券・楽天証券・マネックス証券を指します。

■「トレードステーション」について

「トレードステーション」は、米国でオンライン証券事業を営むグループ会社 TradeStation Securities, Inc.および TradeStation Technologies, Inc.が米国で提供するダウンロード型の取引ツール「TradeStation[®]」を、日本株取引用に開発した取引ツールです。「TradeStation[®]」は、アクティブトレーダー向けの取引ツールとして知られており、米国金融情報紙「バロンズ」にてアクティブトレーダー部門最高位を2011年から8年連続で獲得するなど高く評価されています。

マネックス証券は、この「TradeStation[®]」の優れた機能を活かすと共に、日本のアクティブトレーダーの声を取り入れ、日本株取引に適したトレーディングを行える「トレードステーション」を開発しました。2016年8月よりアクティブトレーダーの皆様を中心にご利用いただいております。「トレードステーション」ならではの高性能を高く評価いただいております。

マネックス証券は、従来よりお客様の最善の利益を図ること等を目的に業務運営や情報提供等を行っており、2017年6月22日(木)には「お客様本位の業務運営に関する方針」を発表しました。今後も個人投資家の豊かな資産形成に資するべく投資情報やサービスの拡充に努めてまいります。

以上

【日本株取引ツール「トレードステーション」における国内上場有価証券取引に関する重要事項】

<リスク>

国内株式および国内ETF、REIT、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等（以下「国内株式等」）の売買では、株価等の価格の変動や発行者等の信用状況の悪化等により元本損失が生じることがあります。また、国内ETF等の売買では、裏付けとなっている資産の株式相場、債券相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等（これらの指数を含む。）や評価額の変動により、元本損失が生じることがあります。信用取引では、元本（保証金）に比べ、取引額が最大3.3倍程度となる可能性があるため、価格、上記各指数等の変動、または発行者の信用状況の悪化等により元本を上回る損失（元本超過損）が生じることがあります。

<保証金の額または計算方法>

信用取引では、売買金額の30%以上かつ30万円以上の保証金が必要です。

<手数料等（税抜）>

国内株式等のインターネット売買手数料は、一日の約定金額1,000万円ごとに最大5,000円かかります。単元未満株のインターネット売買手数料は、約定金額に対し0.5%（最低手数料48円）を乗じた額がかかります。国内ETF等の売買では、保有期間に応じて信託報酬その他手数料がかかることがあります。

なお、当社が定める一定の条件を満たすお客様向けの特別手数料を用意しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。

<その他>

お取引の際は、当社ウェブサイトに掲載の「契約締結前交付書面」、「上場有価証券等書面」、「リスク・手数料などの重要事項に関する説明」(<https://info.monex.co.jp/policy/risk/index.html>)および「日本株取引サービス『トレードステーション』に係るご注意事項」(https://info.monex.co.jp/pdf/tradestation/ts_kit.pdf)を必ずお読みください。

【マネックス証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会